

2020 年度東海大学グループオンライン成果発表会 報告

2020 年度の第 2 期 enPiT-Emb の東海大学グループ合同成果報告会を下記のとおり開催しました。オンライン開催でしたが、最大で72名もの方々にご参加いただきました。

【日時】 2021年3月6日(土)13:00～16:30

【場所】 オンライン(Zoom)

【プログラム】

13:00-13:10	オープニング
13:10-14:25	第 2 期 enPiT-Emb 成果発表会
14:25-14:35	休憩
14:35-15:20	基調講演1 芝浦工業大学 松浦佐江子教授
15:20-15:30	休憩
15:30-16:15	基調講演 2 東海大学 大江信宏教授
16:15-16:30	クロージング

第 2 期 enPiT-Emb 成果報告会

各大学の enPiT 認定の講義やサマースクールを受講した学生が、研究内容や enPiT で得られたこと、感想などを発表してくださいました。本セッションには54名の参加者がお越しになりました。

- (1) 九州大学工学部電気情報工学科 4 年 栗田峻輔
- (2) 徳島大学理工学部理工学科機械科学コース 4 年 元木悠太
- (3) 芝浦工業大学工学部情報工学科 4 年 福井誠人
- (4) 東海大学情報通信学部組込みソフトウェア工学科 4 年 橋本紘樹
- (5) ものづくり大学技能工芸学部製造学科 4 年 田島 悟、神長 孝明



図1 参加者・発表者のお写真

基調講演1（芝浦工業大学 松浦佐江子教授 最終講義）

「大学におけるソフトウェア開発技能育成—これからのみなさんへ—」

本年度で芝浦工業大学をご退官される松浦佐江子教授より、enPiT を含めこれまで大学で取り組んでこられた、ソフトウェア開発技能育成やその実践例などを、大変わかりやすくお話しいただきました。最後にお話しされた、大学で19年間 PBL に取り組んでこられて、変わってきたもの（社会背景に基づく課題の設定や要求、設計・実装の道具）、変わらないもの（本当に欲しいものをそのゴールを満たすように作ること、要求分析・整理・開発の基本的考え方、作れるための技術とその進化を学ぶこと）の話や、ソフトウェア開発の学びを大学での経験だけで終わらせずに、さらに社会で生かしてほしいというメッセージが印象に残りました。参加者は64名でした。



図2 松浦佐江子教授

基調講演2（東海大学 大江信宏教授 最終講義）

「私の企業経験と大学経験から得たこれまでとこれから」

本年度で東海大学をご退官される大江信宏教授より、企業でのご経験、研究活動でのIoTやAIへの取り組み、そしてenPiT教員としての大学でのご活躍に関して、惜しみなくお話しいただきました。特に、東海大学へ移られてからは、PBL (Project Based Learning) 実践科目において、他大学の教員と連携して新しい教材開発などに積極的に携わり、組込みシステムの奥深さ、PBL 実践教育の効果、ものづくりの楽しさ・大切さを改めて実感したとお話されておりました。最後に大江先生から学生に向けて述べられた「大学や enPiT で得た学びに自信をもって、社会に出てからも忘れずに実践してほしい」というメッセージが大変印象的でした。参加者は72名でした。



図3 大江信宏教授

【成果発表会の感想】

学生の成果発表では、コロナ禍において PBL を実践しづらい状況であったにもかかわらず、本年度の enPiT 講義の工夫点、SNS ツールなどを駆使してコミュニケーションを図りながら行った PBL、プロジェクト管理の難しさ・重要性、PBL 経験が卒業研究等に生かされたことなどが発表されていました。また、クロージングにおいて、九州大学の鶴林尚靖先生、東陽テクニカの二上貴夫様からは、学生や教員に向けたねぎらいの言葉をいただくと同時に、enPiT2 が終了しても、PBL 実践教育をこれからも継続して欲しいという要望をいただきました。東海大学グループとしては、連携校・参加校の教員の絆を切らすことなく、合同遠隔 PBL を夏休み期間に実施できるように計画する予定です。ご興味がある方は、照会先までご連絡ください。

【照会先】

東海大学情報通信学部組込みソフトウェア工学科 准教授 佐藤未来子
メール:mikiko.sato[at]tokai.ac.jp ([at]を@に置き換えてください)